



石川豊信《傘と提灯を持つ佐野川市松》幅広柱絵判紅絵 寛延期(1748-51)／歌川広重《名所江戸百景 亀戸梅屋舗》大判錦絵 安政4年(1857)／歌川国芳《東都名所 佃嶋》大判錦絵 天保3-4年(1832-33)頃／葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》大判錦絵 天保2-4年(1831-33)頃／栄松齋長喜《青楼俄全盛遊 寿都乃錦 かつこうり てつ ほうろくうり 左之介》大判錦絵 寛政7年(1795)

オーバリン大学 アレン・メモリアル美術館所蔵 メアリー・エインズワース浮世絵コレクション — 初期浮世絵から北斎・広重まで

Ukiyo-e Prints from the Mary Ainsworth Collection, Allen Memorial Art Museum, Oberlin College

**日本初！エインズワースの浮世絵コレクションを
まとめて紹介**

2019年
4月13日(土)
→ **5月26日(日)**

メアリー・エインズワース (1867-1950) は、アメリカでも早くに浮世絵の収集をはじめたコレクターの一人です。海外のなかでも浮世絵コレクターが多いアメリカですが、有名なコレクターのほとんどが男性です。そのような中で、彼女は男性と肩を並べる目利きのコレクターとして知られていました。日本でも昭和13年(1938)に出された浮世絵コレクターの番付「古今東西浮世絵数寄者総番付」の「外人数寄者いろは番付」内でその名が掲載されています。

これぞ浮世絵名品展！六大浮世絵師の優品が一堂に

鈴木春信

(1725?-70)

錦絵の創始者



鈴木春信《いせ屋》中判錦絵 明和4年(1767)

鳥居清長

(1752-1815)

八頭身美人で一世を風靡

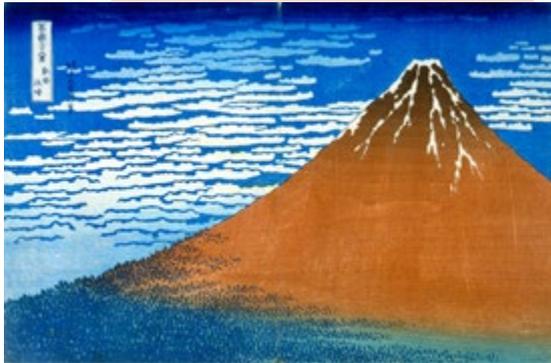


鳥居清長《洗濯と張り物》大判錦絵三枚続のうち 天明後期(1781-89)頃

葛飾北斎

(1760-1849)

縦横無尽の天才



葛飾北斎《富士三十六景 凱風快晴》大判錦絵 天保2-4年(1831-33)頃

東洲斎写楽

(1763-1820)

彗星の如き役者絵の名手



東洲斎写楽《二代目小佐川常世の一平姉おさん》大判錦絵 寛政6年(1794)

喜多川歌麿

(?-1806)

美人画の覇者



喜多川歌麿《正月朔日 屠蘇》大判錦絵 享和期(1801-04)頃 大判錦絵5枚続のうち

歌川広重

(1797-1858)

風景画の巨匠



歌川広重《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》大判錦絵 安政4年(1857)



歌川広重《名所江戸百景 両国花火》大判錦絵 安政5年(1858)

メアリー・A・エインズワース (Mary Andrews Ainsworth)



エインズワース(22歳)

目利きの米国女性エインズワース

- 1867年：アメリカ・イリノイ州ヘンリー郡ジェネシオで生まれる
- 1885年：18歳 オーバリン大学に入学
- 1889年：22歳 オーバリン大学卒業
- 1905年：38歳 アジアを旅行
- 1906年：39歳 来日し、浮世絵に魅了される。以降、約25年かけ浮世絵版画を収集
- 1950年：83歳で死去。死後、膨大な浮世絵版画・版本のコレクションは母校・オーバリン大学に寄贈された

オーバリン大学

▶アメリカ合衆国オハイオ州オーバリンにあるリベラル・アーツ・カレッジ。1833年の創設以来、入学資格に性別や肌の色の制限を設けなかった大学として知られ、創設当初から女性の学生を受け入れ、1835年からは有色人種の学生も受け入れた。



展覧会概要

会期 **2019年4月13日(土)→5月26日(日)**

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は20:00まで) ※ 入場受付は閉館の30分前まで

休館日 5月7日(火)

観覧料 一般 1200円(960円) 大学生 700円(560円) 小・中学生、高校生無料

☆オープニング記念割引 4月13日(土)の初日は観覧料が半額になります。

※障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※()内は前売り、団体20名以上、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(3月31日まで)、ローソンチケット(Lコード:33375)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて4月12日まで販売(4月13日以降は当日券販売)

主催：千葉市美術館、日本経済新聞社

協力：日本航空、高久国際奨学財団

企画協力：マンガスティン

特別協力：桜美林大学



▶ 静岡市美術館 2019年6月8日(土)～7月28日(日)

▶ 大阪市立美術館 2019年8月10日(土)～9月29日(日)

アメリカ・オハイオ州オーバリン大学のアレン・メモリアル美術館には、アメリカ人女性メアリー・エインズワース(1867-1950)が収集し、死後母校に寄贈された1500点以上の浮世絵版画が所蔵されています。明治39年(1906)、エインズワースの来日を契機に始まったこのコレクションでは、珍しい初期の作品から、鳥居清長(1752-1815)や喜多川歌麿(?-1806)など錦絵が興隆をみた黄金期の作品、葛飾北斎(1760-1849)、歌川広重(1797-1858)の活躍による幕末の風景画に至るまで、浮世絵の歴史をほぼ網羅することができます。

よく知られた人気のある作品ばかりでなく、希少な作品も多く、また保存状態も良好で、浮世絵版画の魅力を余す所なく伝える美しいコレクションですが、これまでアメリカにおいてさえ大規模な展覧会は行われたことがありませんでした。

本展覧会は、現地調査を踏まえ、メアリー・エインズワース浮世絵コレクションから珠玉の200点を選びすぐり紹介する、初めての里帰り展です。美しい浮世絵で満たされたエインズワースの玉手箱を初めて開くこの展覧会を、是非ご堪能ください。

展示構成

第1章 浮世絵の黎明 墨摺絵からの展開

延宝8年(1680)頃、「浮世絵師」や「浮世絵」という言葉が現れ、一枚摺の墨摺絵が多く普及し始めます。まもなく色彩が求められるようになりますが、それから60-70年ほどの間は、1枚1枚筆で彩色を行っていました。

この章では、現存数が少なく、大変貴重な初期浮世絵版画を展示します。

奥村政信《羽根突きをする美人》大々判墨摺絵 宝永-正徳期(1704-16)



第2章 色彩を求めて 紅摺絵から錦絵の時代へ

寛保・延享期(1741-48)になると、版による彩色が始まり、墨の輪郭線に、紅と緑を中心に2,3色を摺る素朴な紅摺絵が登場します。やがて明和期(1764-72)には、趣味人たちの摺物制作がきっかけとなって、より高度な多色摺木版画技法、すなわち錦絵が誕生します。

2章では、紅摺絵の名品と錦絵創始期の第一人者鈴木春信(1725?-70)の作品を中心に紹介します。

鈴木春信《縁先美人(見立無間の鐘)》中判錦絵 明和4年(1767)頃



第3章 錦絵の興隆 黄金期の華 清長から歌麿へ

錦絵出版界が活発化する中で、天明期(1781-89)には、長身の伸びやかな美人を描いてスター絵師となったのが、鳥居清長(1752-1815)です。さらに次世代の喜多川歌麿(?-1806)や東洲斎写楽(1763?-1820?)の大首絵も出版されました。

錦絵が華やかに展開し、多くのスター絵師が輩出した黄金期の作品をご堪能ください。

東洲斎写楽《二代目小佐川常世の一平姉おさん》大判錦絵 寛政6年(1794)



第4章 風景画時代の到来 北斎と国芳

天保(1830-44)初期には、葛飾北斎(1760-1849)の「富嶽三十六景」シリーズの出版により、浮世絵における風景画が確固たる存在感を示します。一方で、近年人気の高まる、歌川国芳(1797-1861)も同じ時期に独創的な風景画を出したことで注目されます。

4章では、北斎と国芳という2人の天才絵師による個性的な風景画を中心に、浮世絵における風景画確立時のインパクトを追体験します。



歌川国芳《東都名所 するがだひ》大判錦絵 天保3-4年(1832-33)頃

第5章 エインズワースの愛した広重

エインズワース浮世絵コレクションの過半を占めるのが、歌川広重(1797-1858)の作品です。天保5年(1834)頃に発表された出世作の『東海道五十三次之内』(保永堂版)を代表格として、晩年、安政4-5年(1857-58)の『名所江戸百景』のシリーズに至るまで、広重の名品が網羅されています。

エインズワースが愛した広重風景版画のハイライトを厳選し、展示します。

歌川広重《名所江戸百景 浅草田雨西の町詣》大判錦絵 安政4年(1857)11月



記者レクチャー

一般公開に先駆けて報道関係の皆様を対象に、記者レクチャーおよび内覧会を行います。展覧会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

4月12日(金)／11:00より(1時間程度)／8階展示室にて

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

また、展覧会の開催に伴いオープニングレセプションを行います。ぜひご参加ください。

4月12日(金)／16:00より／1階さや堂ホールにて(予定)

展覧会関連イベント

■講演会

"Many Ways of Seeing : The Mary A. Ainworth Collection and Education at Oberlin College"
(多様な見方：メアリー・エインズワース・コレクションと
オーバリン大学の教育)

【講師】 Kevin Greenwood, Joan Danforth Curator of Asian Art
[ケビン・グリーンウッド、オーバリン大学アレン・メモリアル美術館
ジョン・ダンフォースアジア美術学芸員]
4月13日(土) 14:00より(13:30開場予定)／11階講堂にて／聴講無料／
定員150名(当日12:00より11階にて整理券配布)

「メアリー・エインズワース浮世絵コレクションの北斎」

【講師】秋田達也(大阪市立美術館 主任学芸員)
5月18日(土) 14:00より(13:30開場予定)／11階講堂にて／聴講無料／
定員150名(当日12:00より11階にて整理券配布)

■アート&クラフト市@さや堂ホール

5月5日(日) 13:00～17:00
アクセサリー、陶器など千葉にゆかりのある作家のオリジナル小物・作品
を集めたクラフト市です。ワークショップやフード&ドリンク・コーナーも
お楽しみください。
※出店の応募については、ホームページをご覧ください。

◆イベントの変更、中止につきましてはホームページをご確認ください。

■市民美術講座

**「コレクター達の横顔ー《古今東西浮世絵数寄者総番付》
から見える日本と欧米の浮世絵収集」**

【講師】松岡まり江(当館学芸員)
4月27日(土) 14:00より(13:30開場予定)／11階講堂にて／聴講無料／
先着150名

**「メアリー・エインズワース浮世絵コレクション
鑑賞のポイント」**

【講師】田辺昌子(当館副館長兼学芸課長)
5月11日(土) 14:00より(13:30開場予定)／11階講堂にて／聴講無料／
先着150名

■ワークショップ

「秘伝☆木版画の摺りで空気を表現しよう」(事前申込制)

【講師】宇田川新聞(木版画家)
5月19日(日) 14:00～16:00／11階講堂にて／要参加費／定員20名／
対象:小学校高学年以上 ※詳細はホームページをご確認ください。

■ギャラリートーク

担当学芸員による ▶ 4月17日(水) 14:00より
ボランティアスタッフによる ▶ 会期中の毎週水曜日(4月17日を除く)
14:00より
※水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。
※混雑時には中止する場合があります。

同時開催

所蔵作品展「ピーター・ドラッカー・コレクション水墨画名品展」

※「メアリー・エインズワース浮世絵コレクション」をご観覧の方は無料

次回展予告

▶所蔵品展「板橋区美×千葉市美 日本美術コレクション展 ー夢の CHITABASHI 美術館!？」

千葉市美術館と板橋区立美術館のコレクションが夢のコラボレーション
2019年6月1日(土)～6月23日(日)

▶企画展「没後 60 年 北大路魯山人 古典復興ー現代陶芸をひらくー」

2019年7月2日(火)～8月25日(日)



北大路魯山人《染付葡萄文鉢》昭和初期 世田谷美術館蔵

広報用画像一覧

オーバリン大学 アレン・メモリアル美術館所蔵
メアリー・エインズワース浮世絵コレクション
ー初期浮世絵から北斎・広重まで

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。

世界で1点!
現存数の少ない貴重な
初期浮世絵も展示



1. 奥村政信《羽根突きをする美人》
大々判墨摺絵
宝永-正徳期(1704-16)



2. 喜多川歌麿《婦人相学十躰 面白キ相》
大判錦絵 寛政4-5年(1792-93)頃



3. 東洲斎写楽《二代目小佐川常世の
一平姉おさん》大判錦絵 寛政6年(1794)



4. 歌川国政《岩井栄三郎の禿たより》
大判錦絵 寛政8年(1796)

浮世絵で江戸の旅!

北斎の赤富士で知られる《富嶽三十六景》や広重の代表作《東海道五拾三次之内》《名所江戸百景》は名品を厳選して紹介



5. 葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》
大判錦絵 天保2-4年(1831-33)頃



6. 歌川国芳《東都名所 するがだひ》
大判錦絵 天保3-4年(1832-33)頃



7. 歌川広重《名所江戸百景
両国花火》大判錦絵
安政5年(1858)



8. 歌川広重《名所江戸百景
浅草田甫西の町詣》大判錦絵
安政4年(1857)11月

「オーバリン大学アレン・メモリアル美術館所蔵
メアリー・エインズワース浮世絵コレクションー初期浮世絵から北斎・広重まで」
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

千葉市美術館

広報担当 磯野 行

FAX：043-221-2316

E-mail：isono@ccma-net.jp

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
 - * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
 - * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
 - * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
 - * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
- 原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>(おおよそで結構です 例：5cm 四方、など)</small> ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 奥村政信《羽根突きをする美人》大々判墨摺絵 宝永-正徳期(1704-16) アレン・メモリアル美術館蔵
2. 喜多川歌麿《婦人相学十躰 面白キ相》大判錦絵 寛政4-5年(1792-93)頃 アレン・メモリアル美術館蔵
3. 東洲斎写楽《二代目小佐川常世の一平姉おさん》大判錦絵 寛政6年(1794) アレン・メモリアル美術館蔵
4. 歌川国政《岩井籙三郎の禿たより》大判錦絵 寛政8年(1796) アレン・メモリアル美術館蔵
5. 葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》大判錦絵 天保2-4年(1831-33)頃 アレン・メモリアル美術館蔵
6. 歌川国芳《東都名所 するがだひ》大判錦絵 天保3-4年(1832-33)頃 アレン・メモリアル美術館蔵
7. 歌川広重《名所江戸百景 両国花火》大判錦絵 安政5年(1858) アレン・メモリアル美術館蔵
8. 歌川広重《名所江戸百景 浅草田甫西の町詣》大判錦絵 安政4年(1857)11月 アレン・メモリアル美術館蔵

■ プレゼント用招待券申込

(ご希望の場合はチェックをつけてください)

 5 組 10 名様分 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。)

チケット送付先

ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

広報担当：磯野 愛

Tel. 043-221-2311(代表) / 043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

E-mail. isono@ccma-net.jp

HP. <http://www.ccma-net.jp/>